

## A01-008 クルーとシート

### Crew and Seats

1つの艇に乗るチームをクルー(crew)と言う。漕手のポジションには、バウ(艇首)から番号がつけられる。スイブ艇のノーマルリグでは、サイドを、バウサイド/整調サイドと呼ぶ。

#### 1 クルー

#### Crew

ボートには漕手と舵手が乗り、「クルー」(チーム)を構成する(クルーが漕手だけを指すこともある)。

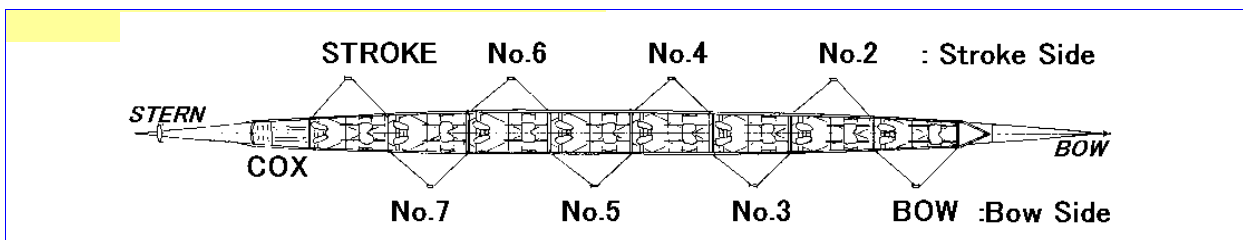
- ・漕手=そうしゆ, rowers : 漕ぐ人
- ・舵手=だしゆ, コックス, coxswain : 舵をとる人

艇の種類によって漕手の数が決まり、漕手の多い艇種ほど高速である。舵手は、舵(ラダー)を操作し、漕手への指示を行う。舵手のいない艇では、操舵(そうだ)は漕手の一人(操舵漕手=ステアズマン)が、ストレッチャーに取り付けられた操舵装置により行う。シングルスカル、ダブルスカルにはラダーがない。

#### 2 シート(ポジション) Seat position

漕手には、艇首(ていしゆ、バウ)から順番に番号が付き、エイトでは1番から8番までである。この番号が各漕手のポジション名になり、その漕手を呼ぶときは、「2番、3番…」などと呼ぶ。ただし最もバウよりの漕手は、「1番」ではなく「バウ」といい、最も艇尾よりの漕手は、「整調(せいちょう)」または「ストローク」と呼ぶ(ストロークには、水を押し「ドライブ」の意味もある。)

艇上でのコールでは、個人名では呼ばないのが基本である。それは、安全上、全員が誰でも一定の迅速な認識・動作パターンを形成するために重要なことである。



エイトのシートポジション。艇首(バウ)から順番に番号が割り当てられる。サイドの配置は、変則的な場合もある。

#### 3 スイブ艇でのサイド

#### Side of the Sweep

スイブ艇の漕手のサイド配列(リガーレイアウト)は、規則的で一般的な配列(ノーマルリグ)では、奇数番号の漕手が右舷を漕ぎ、偶数番号の漕手が左舷を漕ぐ。そこで、バウの漕ぐ右舷側の漕手をバウサイドと呼び、整調の漕ぐ左舷側漕手を整調サイド(ストロークサイド)と呼ぶ。ただしこの呼び方はバウと整調が同じサイドのレイアウトもあるので、変則的なリガーレイアウトの場合は混乱を招きやすく注意が必要である。

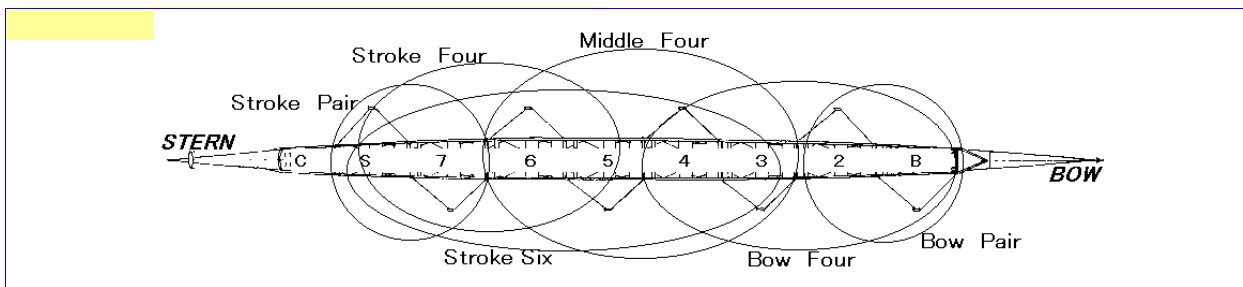
他の呼び方としては、右舷をスターボード(starboard)、左舷をポート(port)と言う。余談だが、日本人はスターボードをストローク、ポートをバウと逆に聞き違いやすいので注意。

#### 4 ペア、フォア、シックス

#### Pair, Four, Six

漕手の前後の2人組を「ペア」という。バウと2番はバウペア、7番と整調(フォア艇では3番・整調)は整調ペアというように。また特に、バウ・整調をエッジペアとかアウトペアともいう。フォアの2番と3番は、ミドルペアという。

エイトでは、フォアまたはシックスと言うグループもある。バウフォアとはバウから4番、整調フォアとは5番から整調、エッジフォアとはバウペア+整調ペア、ミドルフォアとは3番から6番といった具合である。ミドルフォアはエンジンとも言う。またバウシックスとはバウから6番まで、整調シックスとは3番から整調までといった具合である。これらのポジションのグループを使い分け、艇の指示を分けてコントロールする。



バウペア、ミドルフォア、ストロークシックス… さまざまな組み合わせがあるが、基本は単純。

#### 5 スカルの左右の呼び方

#### Side of the Scull

スカルの場合は、特にバウサイド・整調サイドの区別がなくなるが、慣用的に上記と同様にバウサイド、ストロークサイドと呼ばれることもある。

しかし、サイドを言い分けるときは、「右手側・左手側」、あるいは「右舷・左舷」で呼ぶほうが確実である。なお、「左」とか「右」だけでは、手のサイドなのか舷側なのか混乱するので、かならず「右手、左手」などと、はっきりいうことが大切である。



スカルの右と左. 左手側が右舷, 右手側が左舷.